

衛生管理方針		文書番号	2-1-1
		製品名	肉用牛
作成日 (最終更新日)	2018年7月17日 2024年3月25日	責任者 (経営者)	小林 紀夫 

高宮実験牧場は、経営理念に従い肉用牛の生産活動全ての工程において、下記の事項について、継続的にかつ確実な飼養衛生管理の向上に努めます。

【全農グループ経営理念】

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

1. 私たちは全農直営肥育牧場として、「安全」な牛肉をお届けし、消費者の皆様「安心」して食して頂くことで社会に貢献いたします。
2. 私たちは、生産する牛肉の安全性を確保するために、農場 HACCP 認証基準に基づいた衛生管理システムを構築し、維持し、継続的改善を行い、必要に応じて更新することに努めます。
3. 私たちは、衛生管理方針、家畜衛生及び食品衛生に関係する法令、条例、規則及びお客様が求める要求事項を遵守します。
4. 私たちは、牛肉の安全性を確保するため、研修会や外部・内部コミュニケーション活動を通じて全従業員に衛生管理の重要性を認識させ、食品安全に関する知識の向上に努めます。
5. 私たちは、全従業員に衛生管理方針を周知徹底します。また、飼養衛生管理向上の目標を定め、衛生管理システムを確実に運用し、実績を検証、そしてシステムの改善を行います。

6. 高宮実験牧場独自の目標


県内でも頭数規模が多い農場であるため、特に家畜伝染病の発生予防・蔓延防止に努める
アニマルウェルフェアの実践


- (1) 空腹と渇きからの自由
- (2) 不快からの自由
- (3) 痛みや傷・病気からの自由
- (4) 正常な行動を発現する自由
- (5) 恐怖や苦痛からの自由

これらを実践し、家畜・人間双方の幸福を追求する。

2024年3月25日

高宮実験牧場

場長 小林 紀夫 

衛生管理目標			文書番号	2-1-2
			製品名	肉用牛
作成日 (最終更新日)	2018年 7月 17日 2024年 4月 22日	責任者 (経営者)	小林 紀夫	

当農場は、衛生管理方針に基づき、令和6年度衛生管理目標を次のとおり定める。

1. 事故率の低減：年間死亡事故頭数を1%以内にする

2. 生産目標値

性別	導入元	肥育期間	枝肉重量	BMS
去勢	内部	18カ月	510kg以上	7.5以上
	市場	19カ月		
雌	内部	19カ月	460kg以上	7.5以上
	市場			

上記を目標に掲げ、元気で健康な牛づくりを目指します。

令和6年 4月 22日

高宮実験牧場

場長 小林 紀夫 